

高専生が語った「住み続けられるまち」 テーマ：SDGs タスクフォース活動報告

JFMA調査研究委員会
インフラマネジメント研究部会

With 独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校 Be-Mice

これまでの経緯を簡単に

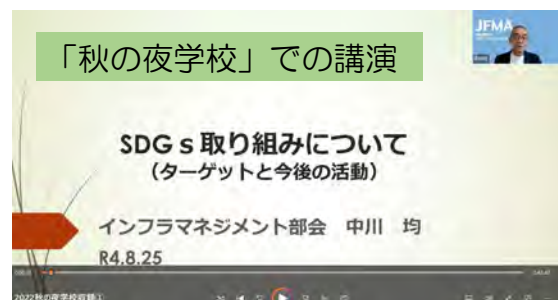
2022年6月
調査研究委員会にて本年度のタスクフォースとしてSDGsの研究活動をすべての研究部会にて実施するとの方針決定

2022年7月
インフラマネジメント研究部会にて取り組みのテーマと進め方について方針決定

テーマ：●住み続けられる街づくり ●グリーンインフラ

講演：「秋の夜学校」中間報告

出版：SDGsで変わるファシリティーマネジメント展開編 発行：2023年3月末～4月



中間報告までの活動について

進め方について

- 部会メンバーからのアンケートによる関心領域の意見徴収
- ワークショップ形式でのブレインストーミング（とことん拡散）→各自の想いを語り合う
- ワークショップ形式でのターゲットの絞り込み（そこそこ収束）→SDGs+グリーンインフラを機能システム図で共有
- 独自の視座のイメージづくり→「ありえへん！こんなものがあっちにもこっちにも！」

本日の報告はここまでを部会員鈴木さんをお願いします。

- 行政インタビュー→本音で語る？市民の声はみんな正しいが・・・
- 部会メンバーからの事例収集
- SDGsタスクフォースレポートへの編集作業 **2022/10/31**
- 現地踏査による市民・学生とのワークショップ
- ファシリティマネジメントフォーラムでの課題提起 **2022/12/31**



中川均

部会ワークショップの様相

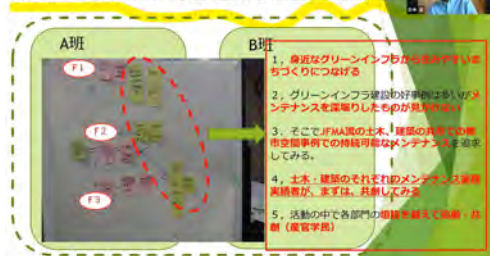


横浜市との意見交換および現地視察



「意見交換の様子」

さて、どうする。相互理解から合意形成に向



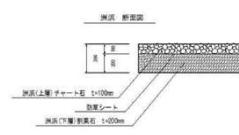
「横浜市中区役所前のグリーンインフラの現地視察」

グリーンインフラを定義する I

部会の定義：地域課題を解決するために配置された自然を利した施設の総称



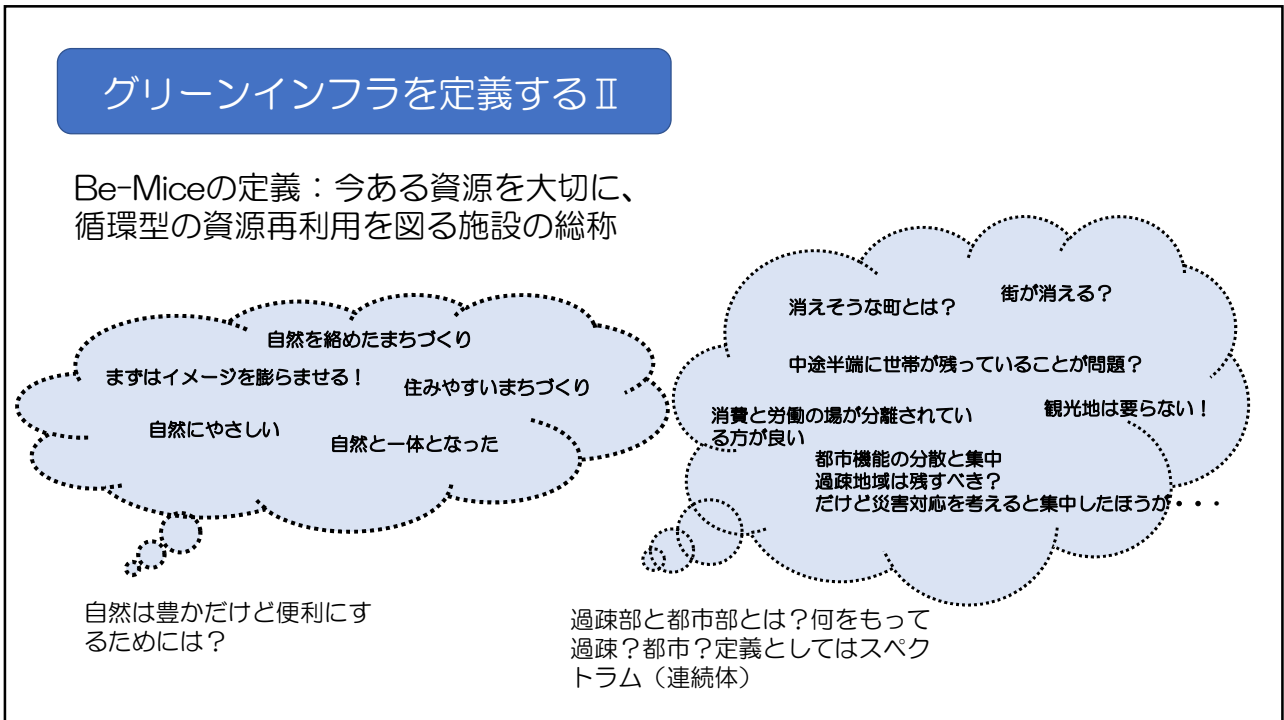
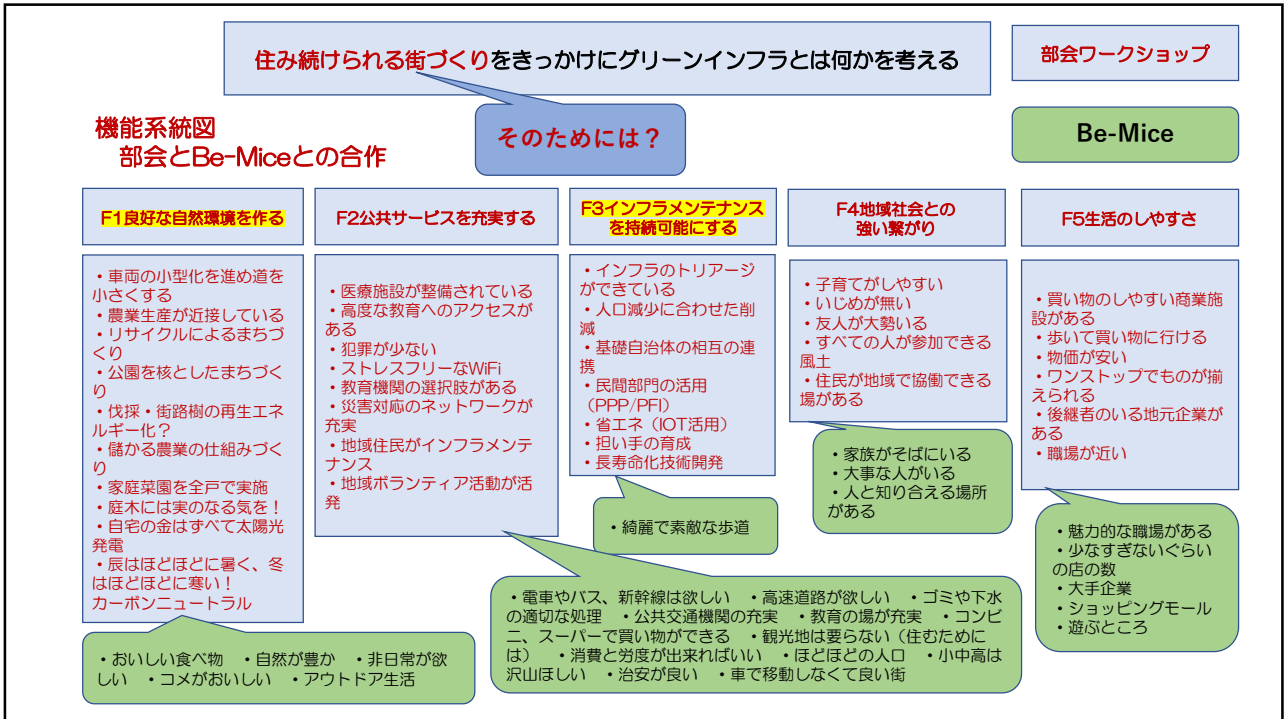
事例1：雨庭整備（四条堀川交差点） 京都市



- 【地域課題】**
- 当該箇所に緑を増やしたい。
 - 道路冠水がしばしば発生する。
- 【目的】**
- 植樹帯の雨水の貯留、浸透能力を高め、道路冠水事象の改善
 - 質の高い緑空間の整備
- 【取組内容】**
- 雨水を貯留、浸透させる洲浜と京都らしい日本庭園風要素を有する植樹帯である雨庭の整備
 - 交差点内から路面排水を洲浜に取り込むために穴あきの歩車道境界ブロック等を部分的に設置
 - 管理の一部を地元ボランティアとの協働で実施

Be-Miceワークショップの様様





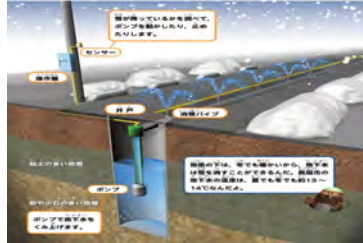
高専生が考えた「グリーンインフラ」の例
：消雪装置からのヒント！雪は何かに使えないか？

長岡発の雪国名物「消雪パイプ」。驚きの仕組みとその歴史に迫る！



2018.3.20

地下水の汲み上げ（地盤沈下？）



水道管の錆で町は真っ赤？

